



# いいまち 今金 夢のまち 今金町



## 今金町基礎データ

総人口	4,480人 (R6年8月末現在)	製造品出荷額	89,228百万円 (R3経済センサス)
高齢人口 (高齢化率)	1,923人 42.9% (R6年8月末現在)	卸・小売年間販売額	7,690百万円 (R3経済センサス)
世帯数	2,351世帯 (R6年8月末現在)	一般会計規模	6,342,862千円 (R6当初予算)
人口密度	7.88人/km <sup>2</sup>	町の木	オンコ (イチイ)
面積	568.25km <sup>2</sup>	町の花	チューリップ
農業産出額	4,030百万円 (R4市町村別農業産出額)		

## 今金町の紹介

札幌市からは約180キロ、函館市からは約120キロの距離にあり、道南圏に組み込まれている今金町は明治30年に瀬棚村（現：せたな町）から分村して「利別村」として自治制を施行して以来、道南圏随一の「農業のまち」として発展し、品質の高い農産物の産地として知られています。

豊かな自然が残されている後志利別川流域には、先住民族であるアイヌ民族もかつて居住しており、現在も「美利河（ピリカ）」や「カニカン」などアイヌ語に由来する地名が数多く残されています。

本格的な開拓は明治の中期から始まり、入植者の必死の努力と肥沃な土壌や気候の恩恵を受けて農業・酪農業が発展し、現在はかつて一面の原生林であったとは信じられないほど、北海道らしい美しい田園風景が広がっています。

また、区画整備により現在の市街地の基礎をつくった今村藤次郎と金森石郎両氏の姓の冠字をとって市街地を「今金」と呼び、昭和22年には自治制施行50周年を迎えたことを機

に「今金町」として町制を施行し、先人たちの偉業に敬意を表しています。

平成9年には自治制施行100周年及び町制施行50周年を迎え、今金町は次の時代へ向けて歩みだしています。



神丘地区の田園風景

## 今金町の産業

基幹産業は農業で、後志利別川による肥沃な土壌と、周囲を山地に囲まれた内陸性気候を活かし、男爵いもや米、大豆、軟白長ネギや大根など、関東・関西の市場のほか、レストランや食品製造業者でも評価の高い良質の農産物を産出しております。特に男爵いもは

「今金男しゃく」の名で令和元年度に農林水産省「地理的表示（GI）保護制度」に登録され、男爵いものプライスリーダーにもなっており「日本一」と評判のほか、道内での流通が少なく、なかなか入手できないことから「幻のイモ」ともいわれています。また、道南地域特産で甘みの強い大豆の「鶴の子大豆」を使用した豆腐等は、札幌や函館等へ出荷され、都市部の消費者にも好評をいただいています。



特産品「今金男しゃく」

## 今金町のイベント

9月には今金町における一大イベントである「今金八幡宮例大祭」が開催されます。山車と神輿が町内を練り歩き、商売繁盛や家内安全のほか、自然と豊穰への感謝を表し、翌年の豊作を願う伝統が受け継がれており、踊



今金八幡宮例大祭「太鼓合戦」

りの披露や笛・太鼓の音色で町内はお祭り一色となります。本祭のクライマックスには、熱い太鼓合戦が行われ、多くの観客が集まります。

## 今金町の名所

### ●クアプラザピリカ

天然温泉と宿泊施設を備えた温泉宿泊施設「クアプラザピリカ」は平成2年12月25日に完成し、30年以上経過した現在も営業を続けています。夏はキャンプやいちご狩り、冬にはパウダースノーが楽しめるスキー場など四季折々のアクティビティも充実しており、一年を通じて様々な楽しみ方ができることが大きな魅力です。

ピリカスキー場は美利河ダムを眼下に初級者から上級者まで楽しめる全5コースがあり、ファミリーコースにはワイドボックスやシリンドラーレールなどを備えたミニパークも設置されています。

広大な芝生のグリーンと白樺のホワイトとのコントラストが美しい「ピリカキャンプ場」は、RVパークやお子さまが楽しめる遊具があり、ピリカの大自然を楽しみながら満喫できる魅力たっぷりのキャンプ場です。

また、施設内のレストランで地元の食材を使った料理を楽しんだり、自然豊かな温泉や



クアプラザピリカ「キャンプ場」

ブラックシリカをあしらったサウナ室で疲れを癒すこともできます。

### ●今金・美利河の金山遺跡

「今金・美利河の金山遺跡」は令和4年10月13日に北海道遺産に選定されました。

今金町の後志利別川上流域には、砂金採掘の遺跡が延長10km以上にわたって随所に見られ、地表面に生々しく残っています。また源流域には金鉱坑道跡などが残るカニカン岳金山跡があります。

これらは江戸時代前期の松前藩が行った大規模な金山開発によるものとされ、国内最大規模とされています。幕末以降にもブームが起き、特に明治期は北海道的な採掘技術を磨く場として歴史的に重要な位置を占めました。昭和前期まで使われていた伝統的な砂金掘り用具も見学することができます。



砂金採掘跡

### ●後志利別川

今金町の中心部を流れる「後志利別川」は道南唯一の一級河川であり、毎年7月の河川愛護月間に国土交通省が公表している全国一級河川水質調査「水質が最も良好な河川」に全国最多回数となる23回選出されています。

後志利別川では、サケやマスの遡上河川とされているほか、カワヤツメやアユに内水面漁業権が設定されており、環境保護にあつ

ては、NPO法人「後志利別川清流保護の会」等による河川清掃が実施されております。

また、令和6年7月には「後志利別川清流まつり」が初開催され、アユの塩焼き販売や後志利別川にて小中学生を対象としたアユ釣り体験のほか、ヤマメすくいといった清流にちなんだイベントが行われました。

### ●今金町交流促進センターあつたからんど

平成7年、「温泉のない市街地の老人の夢をかなえてあげたい」という地元有志たちの地道な活動が実を結び、念願の源泉を掘り当ててオープンした、今金町営の日帰り入浴施設です。

田園風景によく映えるオランダ風の外観が特徴で、バリアフリーの配慮がなされた館内には地元の特産品の展示ショーケースと大きな休憩スペースがあり、併設されたホテルやレストランと渡り廊下で繋がっています。

清潔感のある大浴場にはジャグジーやサウナ、水風呂などがあり、全国でも珍しい強塩泉として知られています。

入浴時には強い浮力を感じるほどの高い塩分濃度をもつ透き通った湯が特徴で、殺菌効果や保温効果に優れている他、皮膚病にも良いとされています。



今金町交流促進センター あつたからんど

# 今金町の四季



【春】総合公園



【夏】後志利別川



【秋】今金八幡宮例大祭



【冬】ピリカスキー場

